

事業名	河川美化事業費			調書番号	94
細事業名	河川美化活動費	財務コード	134703		
担当部課室	県土整備 部	治水 課	管理 担当 (内線)	7308	

事業の概要

実施期間	始期 S46 年度 ~ 終期 年度			
実施主体	県(直営)			
目的	<table border="1"> <tr> <td>だれ(何)を対象に ・河川流域の自治体職員や自治会・ボランティア団体等各種団体 ・県民</td> <td>その対象をどのような状態にして ・河川の草刈・清掃活動を自ら実施することにより、河川愛護の意識を持っている。 ・マスコミなどの報道を見ることで、河川美化意識を持っている。</td> <td>結果、何に結びつけるのか ・地域の河川美化活動の実践</td> </tr> </table>	だれ(何)を対象に ・河川流域の自治体職員や自治会・ボランティア団体等各種団体 ・県民	その対象をどのような状態にして ・河川の草刈・清掃活動を自ら実施することにより、河川愛護の意識を持っている。 ・マスコミなどの報道を見ることで、河川美化意識を持っている。	結果、何に結びつけるのか ・地域の河川美化活動の実践
だれ(何)を対象に ・河川流域の自治体職員や自治会・ボランティア団体等各種団体 ・県民	その対象をどのような状態にして ・河川の草刈・清掃活動を自ら実施することにより、河川愛護の意識を持っている。 ・マスコミなどの報道を見ることで、河川美化意識を持っている。	結果、何に結びつけるのか ・地域の河川美化活動の実践		
内容	<p>良好な河川環境の整備、河川愛護思想の浸透を図るため、毎年7月を全国的に河川愛護月間としている。この期間中に、各建設事務所及び支所において、県職員、自治体職員及び自治会・ボランティア団体等の各種団体参加による河川の草刈・清掃活動を実施している。なお、この活動は昭和46年から継続されている。</p> <p>(実施河川数:10河川...荒川10,000㎡、釜無川18,000㎡、浅川5,000㎡、戸川3,000㎡、早川8,000㎡、波木井川5,000㎡、福土川5,000㎡、桂川4,000㎡、寺川6,000㎡、河口湖6,000㎡ 合計70,000㎡)</p>			

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
活動指標	実施河川数	目標	10	10	10	10	10	10
		実績(見込)	9	10	8	7	10	10
		達成率	90.0	100.0	80.0	70.0	100.0	100.0
		達成区分	b	b	b	c	b	b
成果指標	河川清掃参加者	目標	1,777	1,810	1,890	1,780	1,947	1,971
		実績(見込)	1,445	1,743	1,436	1,350	1,712	1,653
		達成率	81.3	96.2	76.0	75.8	87.9	83.9
		達成区分	b	b	c	c	b	b
決算(予算) 単位:千円		1,038	1,038	1,084	1,094	995	1,162	1,162

事業の評価(平成28年度の業績評価)

活動指標	b	評価	
成果指標	b		地域住民が河川清掃を行うことにより、河川に対する愛護の意識が養われ、効果的な河川美化につながっている。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(河川美化意識の啓発活動は、河川管理者である県が行うべきものである。)
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	さらに多くの県民が参加するように、市町村や関係機関に対し、積極的に参加を働きかけていく。
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他(より広い地域の住民に対して河川美化意識を啓発するために、実施箇所についても検討する。)
その他	説明	
見直しの必要性	有	河川清掃実施予定について、現在は県HPでの公開等を行っているが、より多くの県民に周知されるよう、見直す必要がある。

見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	地域の住民一人一人が河川愛護の意識を持ち、自発的に河川美化活動に取り組むことを目標にし、PR方法を工夫する。また、河川清掃の実施箇所についても変更する。
----------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、「見直しの必要性」を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。